

今治JC

[愛媛]

設立40周年の節目に 過去を見つめ、未来を創造

今治市は愛媛の北端に位置し、古くは伊予国の中心、国府として栄え、日本初の国立公園となる美しい島々は、古来、大陸と日本を結ぶ瀬戸内海航路の要という側面も持ち、建造実績世界一の造船業、外国航路船舶の4隻に1隻が今治地域の企業が保有する海運業など、海とともに発展してきました。

また、四国初の海港場となったことから栄えた繊維業は、日本一の生産高を生むタオル産業や、縫製業の集積を育み、島嶼部では石材業、製塩業などが盛んなまちとして発展しました。現在では7つの海峡を横断できる「しまなみ海道」を通して広島県尾道市とつながり、日本3大潮流を持つこれらの海峡では、大小様々な渦潮、潮流を体感できます。

今治

JCは1966年に設立のスポンサーのもと認証された、認証番号341番のLOMです。シニアクラブは76年からメンバー間の交流と、現役メンバーの活動支援のため結成され、本年度は第31代松田敏彦会長のもと100余人のメンバーが毎月定例会を行っています。例会では、市の幹部職員をお招きし、市の都市計画についての講演をしていただいたり、家族を招き、担当委員会によるアトラクション、ゲームに楽しんでいただながら、メンバー家族間の交流を図るなどの事業を行っています。2005年には今治市と周辺11町村と



今治JCシニアクラブ松田敏彦会長
初代理事長八木勇雄先輩



家族例会



締めめはやはり、若い我ら!



40周年記念式典での歴代理事長

の合併で、(新)今治市は人口18万人、愛媛第2のまちとして再スタートしました。再スタートにふさわしい今治市を創造すべく、現役メンバー諸君は本年、第41代竹中健造理事長のもと、メンバー約110人が「誇りと団結の年輪を刻み、今こそ示そうJC羅針盤」をスローガンに設立40周年を迎え、第4回全国高校心の絵本選手権の開催や、第25回全国城下町シンポジウム今治大会の主管など、日々汗を流しています。

本年5月のJCI ASPAC高松大会でも四国地区の仲間として、副主管をつとめさせていただきました。JCIの進めるブランディング戦略を、アジア太平洋地域の一員として、直接肌で感じる事ができたと思います。

国内においても、10年前の日本JCIが取り組んできた「地域主権」から「道州制」の流れへと確実に動こうとしています。

す。地域を考える上でも、個人主義的な独自の性ではなく、周辺地域ともしっかりとつながりを持つ地域性が必要だと教えてくれているのではないのでしょうか。また、「少子」という動かしがたい現実を前に、近い将来、ともに汗を流し、地域のリーダー候補となる若者たちと、もったいなくかわりを持つことも必要でしょう。

われわれ今治JCシニアクラブは、今後とも、現役メンバーの支援を通して、地域の発展と、明るい豊かな社会を築くために、全国のみならずとも努力させていただきます。

日本JCSニア・クラブ
愛媛ブロック担当幹事 富田将令